

(農)生源寺営農組合 富山県射水市

基本情報

- 気候：日本海側気候
- 土質：埴壤土
- 従事人数：約50人
(組合員+家族)
- 臨時雇用：5人
(野菜に係る作業のみ)

品目	作付面積	平均区画
主食用米(移植)	20.7ha	70a
主食用米(直播)	7.2ha	70a
大豆	9.5ha	—
野菜	3.7ha	—

経営方針(重視・優先していること、こだわり等)

- 収量性と作業分散のため、早生と中生(一部直播)の品種を作付
- 適期作業やケイ酸資材の施用により、品質向上を目指す
- 環境への負荷が少なく、安価で省力化が図れる技術や資材の導入
- 営農組合内での出役と地区の非農家の雇用(野菜収穫時)により、労働力を確保

稲作の施肥・防除におけるコスト低減の取組

- 農薬
 - ①苗箱施薬剤の使用中止
 - ・耕種的対策や予察情報の活用による防除を実施
 - ・適用条件(コシヒカリ、移植)
 - ②適期防除による農薬散布回数の削減
 - ・防除予察に基づき、ほ場ごとに病害虫・雑草等の発生状況を確認し適期防除の実施(散布回数5回から4回に削減)
 - ・適用条件(コシヒカリ、直播、動力散布機)
 - ③除草剤を年度毎に見直して安価な剤へ切替
 - ・草種により効果的な剤を導入
 - ・適用条件(コシヒカリ、直播)

導入効果

- 防除
 - 農薬費 ▲約3割
 - 労働時間 ▲約1割
- (取組前(苗箱剤使用、農薬散布5回)との比較)

支援体制

- ・上記の取組を実施したきっかけ(情報源)
高岡農林振興センター、JAいみず野
- ・地方自治体やJA等による支援
栽培管理の技術や防除予察、効果の高い農業資材等の情報提供

課題・今後の目標

- ・病害虫の発生状況に応じた適期防除が必要
- ・大区画化による収量維持や雑草防除のため、均平化を図っているが、土質が困難
- ・乾田V溝直播を思案中

